

支え愛 『マッサージボランティアで感じたこと』

いつもお世話になっております。デイサポートにいろいろさんとは1か月に1度、マッサージのボランティア活動をさせていただいております。この活動を始めるきっかけは、以前勤めていた接骨院がにじいろさんと隣接しており、挨拶へ行ったことが縁となり今日にいたっております。

実際にマッサージボランティアを行って感じたことは、いかに自分の世界が小さかったのか実感できたことでした。今までは接骨院という場所に通える範囲の患者さんと接する機会しかありませんでしたが、全く違う新しい体験をさせていただきました。その中で行った初めての活動ですが、間違いだらけだったのを覚えています。その度にスタッフの方と話し合いの機会を設けていただき、必要な情報や対応方法、個々の性格などを把握したうえで対応させていただくと、手を引っ張ってマッサージを促されることも増え、その度に利用者さんとの距離が縮まった実感を感じました。ここまでマッサージボランティアを続けることができたのも、ひとえにスタッフの方々のご協力があるからこそです。この場を借りて感謝申し上げます。

マッサージボランティアを重ねていくと、様々な活動を

マッサージボランティア
菊地賢治



行い、更に地域に開かれたコミュニティであることも新しい発見でした。餅つきでは招待状も頂き、つきたてのお餅をご馳走になりましたし、夏まつりでは様々な催しを来場者の方々と一緒に楽しむ姿も見られました。お正月には紙パックで作った年賀状が届いたのも記憶に残る思い出です。

このマッサージボランティア活動を通じて物事を1つずつ解決していくことの重要さと、他の人と協力し合うことの大事さを再確認することができました。今も月に1回の活動を行う度に新しい発見や課題が見つかりますが、ネガティブにとらえるのではなく、問題を解決するマッサージボランティア活動へ還元することで、利用者さんのより良い環境の一因となれば嬉しく思います。

特集

僕の夢、私の夢～夢・実現のために～ 2021年度

《夢・実現のために》と、愛泉会ではテーマを掲げています。障がいがあるから出来ないときあらめていくことはないでしょうか。すぐに実現できなくても、少しずつお金をためたり、練習したり、経験を重ねたり。多くの取り組みがされていると思います。成功しないと表に出ないことが多い中、そのプロセスを大切に、一緒に取り組んでいる内容をご紹介します。



向阳園ホームヘルプステーション心音

「Nさんの行動範囲拡充に向けて」

ホームヘルプステーション心音では、利用する方々のニーズに合わせて外出などの余暇活動、通院介助、家事支援等を行っています。利用する皆さんがまたヘルプを利用したい!と思えるよう、コミュニケーションを大切にしながら支援しています。今回はその中で全盲の70台男性Nさんの支援を紹介します。

Nさんは幼少期の病気で全盲となりましたが、若い時は柔道でパラリンピックに出場するなど精力的に活動されていました7年前に現在の自宅に



引っ越されてからは、1人で外に出かけることはありませんでしたが、妻に何かあった時に1人で生活していけるようになりたいと昨年思うようになったそうです。まず自宅の周りの道を覚えて、1人で外出したいという思いを実現するため、月に2回、当事業所の同行援護を利用して近隣の散策を行っています。ヘルパーが側溝、電柱、ガードレールのない歩道などの危険箇所、目的地の入り口までの目印などを繰り返し伝えていくことで、現在は1人で近所のプールまで歩き、余暇を楽しめるようになりました。70代で全盲という状況でも常にチャレンジし続けるNさんには頭が下がる思いで、いつも刺激をいただいています。これからも利用する方々の想いに寄り添い、可能性を引き出せる支援をしていければと思っています。

[向阳園ホームヘルプステーション心音
サービス提供責任者 宮崎 一計]



グループホーム支援センターなかやま

「スモールステップで進行中!」

「夢はなんですか?」とお聞きすると「車の免許を取りたい」「自立型のグループホームで暮らしたい」「一人暮らしがしたい」「結婚したい」「ディズニーランドに行きたい」などたくさんの答えを返して下さる雨宿館の皆さんです。夢について話をしている間、どの方の表情もキラキラ輝いています。

夢を実現させるためには様々な課題があります。誰もが一足跳びで実現できるわけではありません。努力と諦めない気持ちも必要です。例えば、車の免許を取るためには教習所に通って継続して勉強しなければなりません。お金も必要になるため仕事をして給料をもらった方がいいと思われる。また、1人暮らしをするためには掃除や洗濯など自分でできることを増やさなければなりません。課題を一緒に考えていくことは大切であると考えています。

皆さんの夢の話を受けて、毎月の会議の中で

「自分でできることは自分で」というテーマで話し合いを行っています。部屋の掃除や洗濯、食後の片付け、1人で買い物に行く、コーヒーを自分で作るなどできることをどんどん増やして取り組みです。スモールステップを積み重ね、着実に夢の実現に近づけるよう皆さんと一緒に楽しく努力してきたいと思っています。

[グループホーム支援センターなかやま
支援員 佐藤 陽子]



ようこそまインドパークへ。のんびり馬に乗ってみませんか?

～楽しく安全な乗馬活動を目指して～

マインドパークは平成17年にオープンいたしました。開設当時より元気な道産子カムイ君、サラブレットのチャイ君とダルさん。皆に愛されるミニチュアホースのももちゃんの4頭が現在は暮らしています。愛泉会の利用者だけでなく、市内・県内の養護学校や小学校・幼稚園・保育園・児童のサービス事業所等の皆様に、毎年元気に利用していただき「もう1回乗りたい」「また来年も来るね」等々の言葉と共に沢山の笑顔に触れる機会を頂いています。また、今年は盲学校の学生さんにも初めてチャレンジしていただくことができました。



馬の体温はいかがだったでしょうか。匂いは…風は…蹄の音は…揺れは…沢山のことを感じていただけたようでした。

昨年からのコロナ禍の影響で残念ながら利用をキャンセルしなければならない方も多くいらっしゃいますが、感染予防を講じながら、多くの方に安全で楽しく利用して頂けるようスタッフ一同、心よりお待ちしております。

[マインドパーク カムイ・チャイ・ダル・もも]